

(一般屋内用)

外観	高光束タイプ	品番	
		L 900タイプ	L 1200タイプ
白	昼白色【5000K】	NNF(H)50900	NNF(H)51200
	白色【4000K】	NNF(H)50901	NNF(H)51201
	温白色【3500K】	NNF(H)50902	NNF(H)51202
	電球色【3000K】	NNF(H)50903	NNF(H)51203
黒	昼白色【5000K】	NNF(H)50910	NNF(H)51210
	白色【4000K】	NNF(H)50911	NNF(H)51211

外観	低光束タイプ	品番		
		L 900タイプ	L 1200タイプ	L 1500タイプ
白	昼白色【5000K】	NNF(H)40900	NNF(H)41200	NNF(H)41500
	白色【4000K】	NNF(H)40901	NNF(H)41201	NNF(H)41501
	温白色【3500K】	NNF(H)40902	NNF(H)41202	NNF(H)41502
	電球色【3000K】	NNF(H)40903	NNF(H)41203	NNF(H)41503
黒	昼白色【5000K】	NNF(H)40910	NNF(H)41210	NNF(H)41510
	白色【4000K】	NNF(H)40911	NNF(H)41211	NNF(H)41511

オプション

レースウェイ取付金具 NNFK95400

・上記()内は加工品番です。以降、加工品番および特注品番の記載を省略します。
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

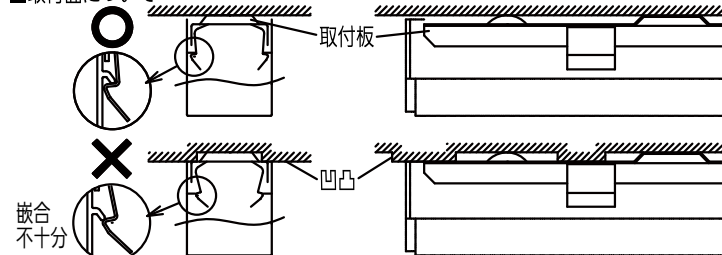
- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- カバーに衝撃を与えない。破損した場合、感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- 天井、壁面（横向きのみ）・据置き取付専用器具です。
指定外の取り付けはしない。落下の原因となります。



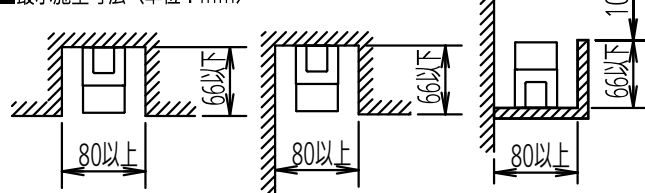
注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所、粉塵の発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃以内で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。（一部の食品や薬品・紙類また、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。）光学性能に影響を与える場合があります。
- 電源送りの際、電源回路に7Aを超える電流を流して使用しないでください。過熱による火災の原因となります。
- 器具の取り付け・取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。
- 最小施工寸法（右図）より大きい寸法で施工してください。落下・火災の原因となります。
- 取付板は、段差や障害物などの凹凸のない平坦な面に取付けてください。（下図“取付面について”を参照）
本体取付時に嵌合が不十分となり、本体が外れるおそれがあります。

■取付面について



■最小施工寸法（単位：mm）



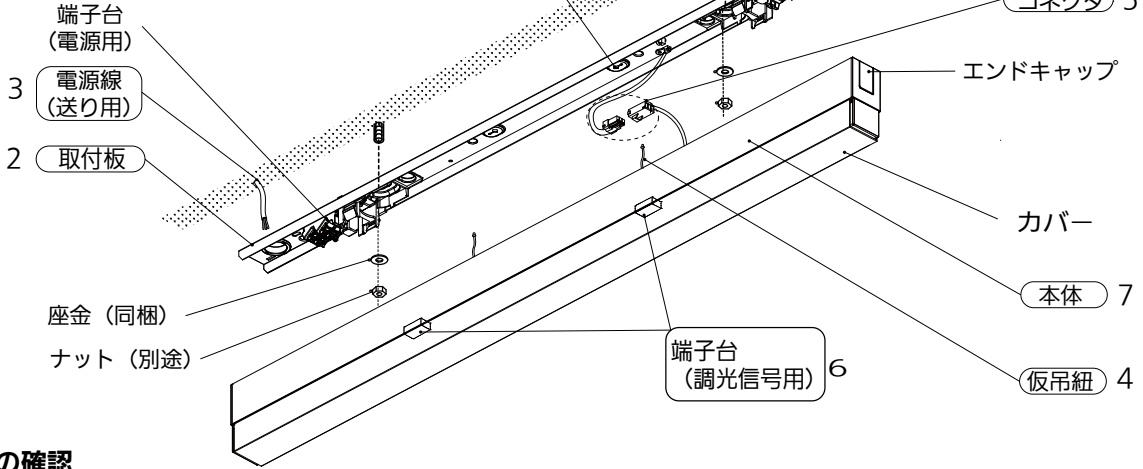
施工上のご注意

- ・本体の取り付けには方向性があります。取付板と本体のコネクタのある向きを合わせて取り付けください。
- ・コネクタ接続は、必ず電源を切ってから行ってください。LEDユニットの故障・短寿命の原因となります。
万一、通電状態でコネクタ接続を行った場合、電源ユニットの保護回路(発振停止機能)によりLEDユニットは点灯しません。
- ・適合コントロールは当社製品をご使用ください。適合コントロールの注意事項については適合コントロールの説明書をご確認ください。
- ・接続可能な器具台数は器具の定格電圧により異なります。詳細はライトコントロールの承認図、取扱説明書をご参照ください。
※ライトコントロールで照明器具電源を接続する場合、接続台数が減少する場合があります。
ライトコントロールの定格容量とLED器具の定格を事前に確認してください。
- ・電源線の引込みは電源線用穴（入力用）、送りは電源線用穴（送り用）を使用してください。1ヶ所の穴をご使用の場合、器具内で電線を納めにくくなるおそれがあります。調光信号線は、1ヶ所の穴から入力用、送り用の電線の引込みができます。
- ・電源線の引込み穴は余分な電源線を天井裏に押し込むため、天井裏には障害物がないようにしてください。
- ・騒音（うなり）が大きくなる場合がありますので、以下の配線を行ってください。
 - ・三相電源を使用する場合は、必ず接地側を器具の端子台のN側に接続してください。
 - ・電源と器具間に片切りスイッチを設ける場合は、必ず非接地側（充電側）に取り付けてください。
- 結線について
 - ・コントロールの結線はコントロールの説明書をご確認ください。
 - ・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。

各部のなまえと取付方法

警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
 施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
 灯具の取り付け・取り外しは必ず電源を切る。



1 取付前の確認

- 既設器具取替えの場合、周辺機器の電気容量を確認する。
 (直付けの場合)
- 器具質量 (1.8kg : L1500タイプの場合)に十分に耐えるよう、取付ボルトまたは、木ネジ取付部 (ネジ掛かりしろ) の強度を確保する。
 (取付ボルトは、W3/8またはM10を使用する。)
 取付ボルトの天井面からの出代は、15~25mmとしてください。

不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

- (ロックウール等のやわらかい天井材に直付けの場合)

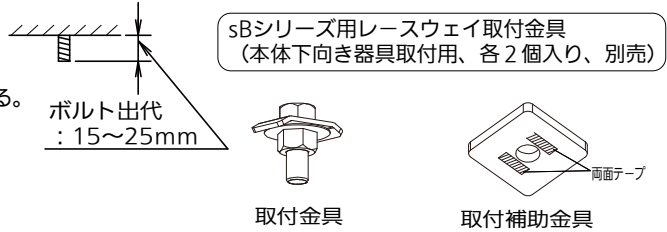
- 上記の (直付けの場合) を確保する。
- 天井材の取付ボルト貫通穴が大きい場合、取付板のボルト締め付け箇所が天井に食い込んで、本体の嵌合が不十分となり、外れる原因となります。
 (天井材の取付ボルト貫通穴推奨値 φ20mm)

不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

- (開口部下向きのレースウェイ本体の場合)

- 取付金具をレースウェイ本体に取り付ける。(2ヶ所)
- 取付補助金具の両面テープが取付板の右図位置に合うように、取付補助金具を取付板に貼り付ける。
- 取付板を右の取付図のように取り付ける。

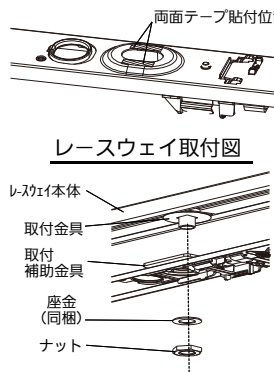
不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。



2 取付板の取付

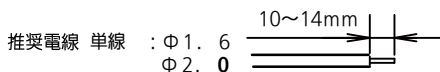
- 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- 取付板を取付ボルト (同梱の座金を使用) または、木ネジで確実に取り付ける。
- ロックウール等のやわらかい天井に取り付けの際は、取付ボルトの締めすぎにご注意ください。
 取付ボルト推奨トルク値より強く締めた場合、取付板のボルト締め付け箇所が天井に食い込んで本体の嵌合が不十分となり、外れる原因となります。
 (取付ボルト推奨トルク値 1.5N・m)
 (木ネジは丸木ネジの呼び4.1~4.5を使用する)

不備があると器具落下の原因となります。

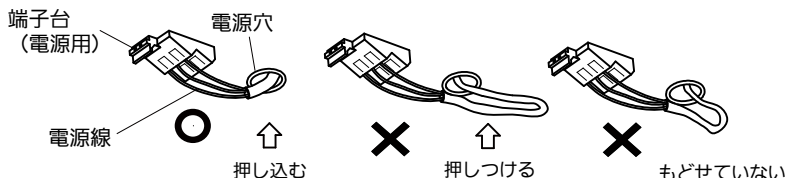


3 電源線・アース線の接続

- 電源線、アース線を確実に差し込む。
- D種 (第3種) 接地工事が必要。
- 端子台 (電源用) の最大送り容量は7Aです。
接続が不完全な場合や 容量オーバーの場合、火災の原因となります。

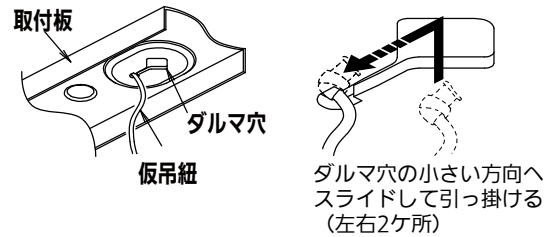


- 送り配線する場合は入力とは反対側の端子台を使用してください。
- 電源線接続後、余分な電源線は本体との当たりを防ぐため電源穴へ押し込んで、処理すること。
不備があると本体の取り付けができず本体の落下の原因となります。



4 仮吊紐の取付

- 仮吊紐を取付板のダルマ穴に引っ掛ける。(2ヶ所)
取り付けが不完全な場合、取り付けをしなかった場合、本体落下の原因となります。



5 コネクタの接続

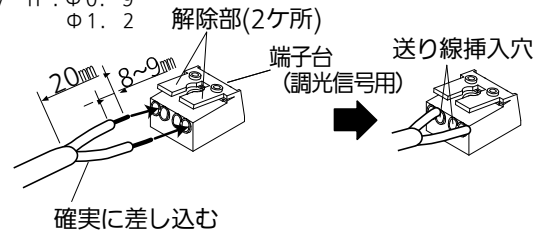
- コネクタを接続する。
 「カチッ」と音がするまで嵌め込んでください。
接続が不完全な場合、火災の原因となります。

6 調光信号線の接続

- 下図のように端子台 (調光信号用) に接続する。
- 調光信号線を確実に差し込む。
 調光信号線に極性はありませぬ。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

推奨電線

FCPEV-1P : φ0.9
 φ1.2



調光信号線の外し方
 解除部を押しながら調光信号線を引き抜く

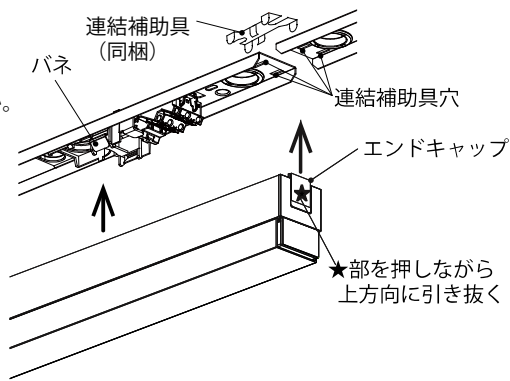
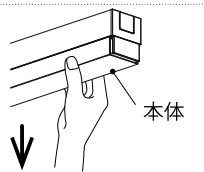
各部のなまえと取付方法(続き)

7 本体の取付

- ・本体の取り付けは、取付板のバネ（左右2ヶ所）に本体を押し上げセットする。取り付け後、本体を軽く引き下げ確実に取り付けされていることを確認してください。電線などは確実に収納してください。本体の取付が不完全になるおそれがあります。**取り付けが不完全な場合、本体、灯具落下の原因となります。**

本体を取り外す場合

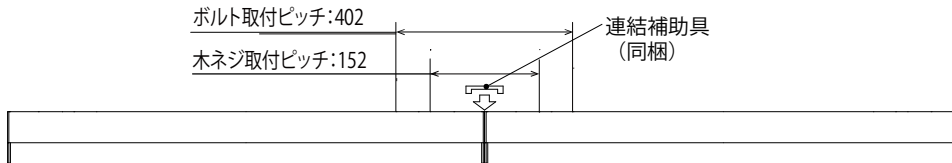
1. 手で本体を引き下げる。
工具でこじ開けると、本体破損の原因となります。
2. コネクタを外す。
3. 仮吊紐を本体から外す。



<連結の場合>

取付板端の連結補助具穴に連結補助具（同梱）をはめ込み器具間のエンドキャップを外す

ボルト取付ピッチ:402
木ネジ取付ピッチ:152



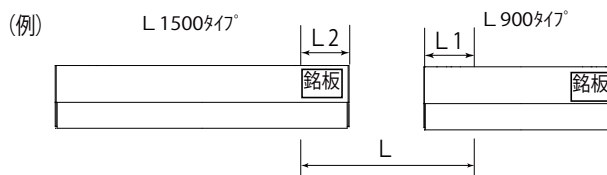
<器具内送り配線をする場合>

・連結する器具タイプの組み合わせに適した長さの電線を準備する。

・調光信号線の電線長設定について

	適合電線	電線長
【電源線・アース線】	推奨電線 単線 : Φ1.6 Φ2.0	270mm 10~14mm(両端)
【調光信号線】	推奨電線 FCPEV-1P: Φ0.9 Φ1.2	L=L1+L2 8~9mm(両端)

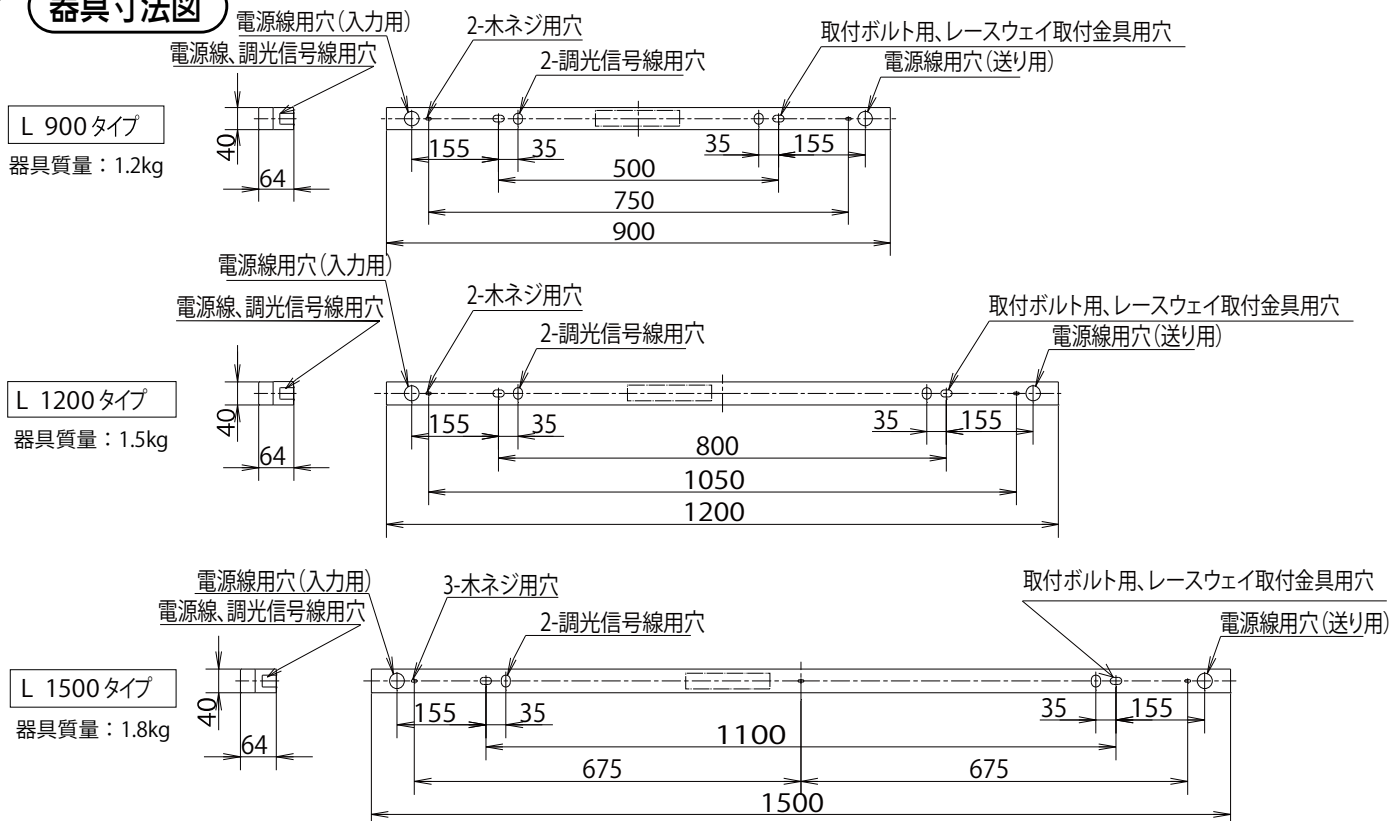
タイプ	L1	L2
L 900	325mm	275mm
L 1200	340mm	340mm
L 1500	340mm	280mm



$$L = L1 (325mm) + L2 (280mm) = 605mm$$

連結する器具タイプ、向きにより長さが異なります

器具寸法図



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

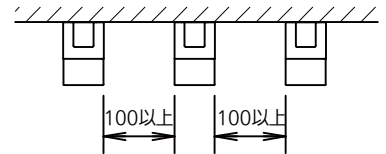
- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

注意

- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
 - 照明器具には寿命があります。設置して10年(※)経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店などの専門家による点検を受けてください。(チェックシート番号：CLX2021HA) 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。

使用上のご注意

- ・光源として高輝度LEDを使用しています。光源部を長時間直視しないでください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機などの誘導無線を使用される場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- ・LED素子にはばらつきがあるため、同一商品でも光色・明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・点灯直後・消灯直後にプラスチックの伸縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。
- ・静かな環境や密集取り付けでご利用の場合、きしみ音が出る場合があります。
- ・虫の飛来が多い場所で使用される場合、まれにカバー内に虫が侵入するおそれがあります。
- ・密集取り付けしないでください。(右図参照) 過熱による故障の原因となります。



調光で使用する場合

- ・光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違があります。
- ・コントロールと組み合わせて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
 - ・同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。
 - ・低い調光域では段階調光のように動作する場合があります。
 - ・調光した状態でコントロールの点滅スイッチをすばやく操作した場合、100%点灯してから設定の調光状態になる場合があります。

保証について

- ・保証について……この商品の保証期間は1年間です。ただし、LED電源は3年間です。詳細は弊社カタログを参照してください。
- ・保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へ申し出てください。
- ・補修用性能部品……弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。
の保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

- ・器具の清掃について……水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。



- お手入れ時は、必ず電源を切ってください。感電のおそれあり。
- 本体のカバーは樹脂製です。取り扱いに注意してください。カバー破損のおそれあり。
- 点灯中や消灯直後は本体やその周辺をさわらないこと。やけどのおそれあり。

定格

高光束タイプ (L R)	L 900タイプ			L 1200タイプ		
	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	0.240A	0.120A	0.100A	0.310A	0.155A	0.128A
消費電力	23.0W	23.0W	23.0W	30.6W	30.6W	30.6W

低光束タイプ (L R)	L 900タイプ			L 1200タイプ			L 1500タイプ		
	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	0.170A	0.085A	0.074A	0.220A	0.110A	0.095A	0.270A	0.135A	0.112A
消費電力	16.6W	16.6W	16.6W	21.7W	21.7W	21.7W	26.8W	26.8W	26.8W

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>
0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月~土/9:00~18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460 (FAX) (Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays))

N1120-050223